

主な御意見の趣旨

- 将来推計人口が示す、**周辺部での人口確保や働く場の確保**の必要性
- 住宅単体では本市の住戸面積は狭いが、地域の中に生活を補う機能を充実させるなど、**京都らしい居住環境**をつくることが重要
- 大規模開発が旺盛な周辺都市へ人口が流出しているが、大規模マンションのような箱モノだけでは人口は定着せず、**魅力ある環境整備**が必要
- 女性が働くところの近くに住む傾向があり、**女性が働きやすく、子育てしやすい環境**を整備し、定住するまちづくりが重要
- クリエイティブ産業やコンテンツ産業などのポテンシャルが高いが、活動の場が弱く、**就職先や産業ニーズの受皿**が必要
- クリエイティブ産業やコンテンツ産業との親和性も高い、テレワークや働く場としての京町家の利用など、**コロナ時代の京都らしい「職住共存・職住近接」の検討**
- 住宅排除が一般的な工業系地域での、**相互に調和した「職住近接」の新たな形態**の検討
- 地域中核拠点程度の範囲で暮らし、その拠点が散らばっている**のが、元々ある京都の姿

拡充の方向性

- 都心部への都市機能の集積だけでなく、**多様な地域にも特性に応じ充実**
- 真のワーク・ライフ・バランスの実現**、これからの暮らし方にも対応
- 多様な人材が活躍するヒューマンスケールの京都の魅力向上**

職住共存 従来：西陣など生業と生活が結びついた歴史的市街地等の形成
⇒**市内周辺部でも職と住が調和する魅力的な生活圏の形成**

- ・空き家などを活用した働く場の創出（コンテンツ産業等）
- ・身近な地域で「職・住・学・遊」の魅力の充実
- ・リモートワークなどICT活用に対応できるまちづくり

職住近接 従来：産業集積地と住宅地の棲み分けを基本とした土地利用
⇒**住む場所と働く場所のつながりを考慮するまちづくり**

- ・居住地からアクセス性の高い働く場の充実（ワーキングスペース等）
- ・産業と調和し利便性の高い居住環境の創出
- ・市街化調整区域等でのコミュニティの維持と産業振興

【住まい方・働き方の将来イメージ】

（斜線：現在のボリュームゾーン 黄色：今後、伸ばしていきたいゾーン）

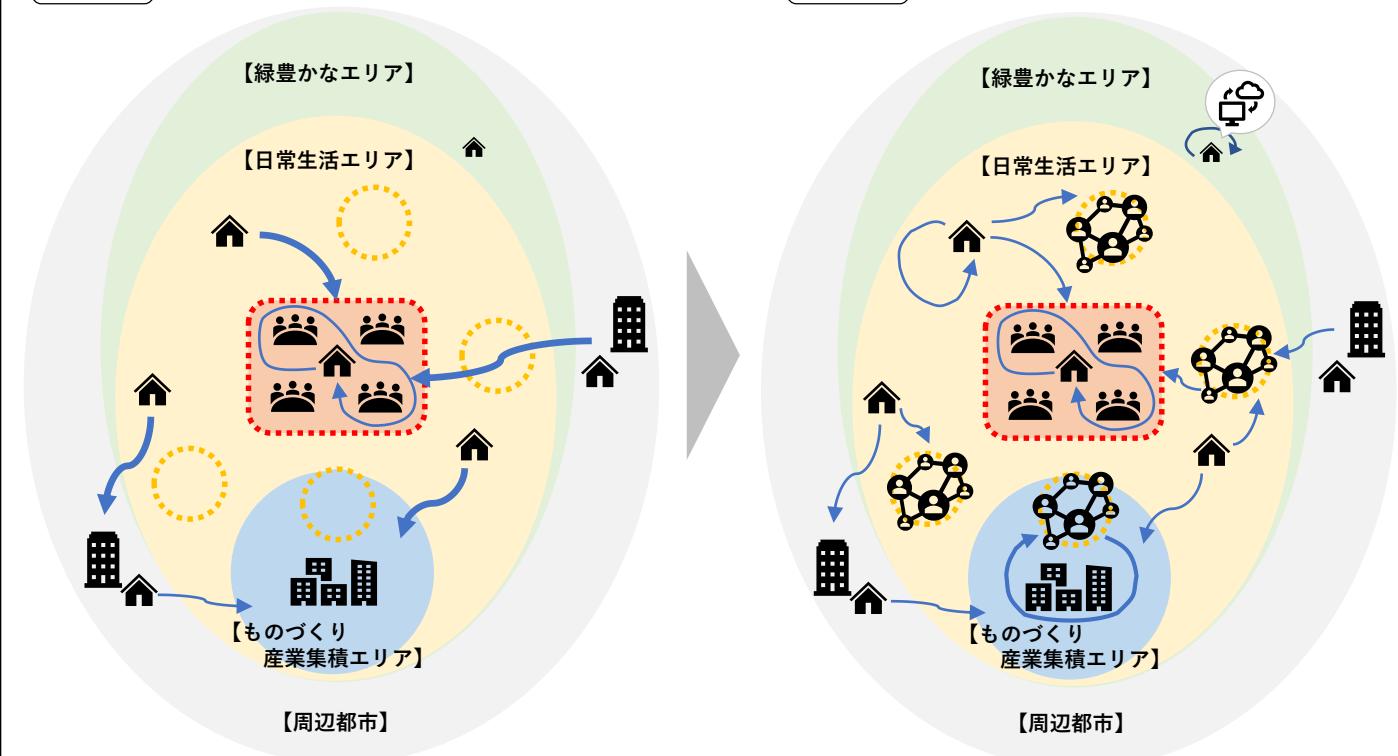
		働く場所（職場）				
		都心部	周辺部			
		広域拠点エリア	地域中核拠点エリア	日常生活エリア	ものづくり産業集積エリア	緑豊かなエリア
住む場所（自宅）	都心部	広域拠点エリア	働く場の充実（町家オフィス）			
	周辺部	地域中核拠点エリア		働く場の充実 （サテライトオフィス コワーキングスペース等）		
		日常生活エリア				
		ものづくり産業集積エリア				住む場所の充実 （ものづくりと調和し、 生活環境の整った住宅）
		緑豊かなエリア				コミュニティや 産業の維持・振興

⇒新たな「職住共存・職住近接」の可能性の展開

（赤点線：広域拠点エリア 黄点線：地域中核拠点エリア ←：人の動きのイメージ）

現在

将来



⇒周辺部における、昼間人口の定着